

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成24年10月4日(2012.10.4)

【公開番号】特開2011-21909(P2011-21909A)

【公開日】平成23年2月3日(2011.2.3)

【年通号数】公開・登録公報2011-005

【出願番号】特願2009-164928(P2009-164928)

【国際特許分類】

G 01 D 5/347 (2006.01)

【F I】

G 01 D 5/34 D

【手続補正書】

【提出日】平成24年8月16日(2012.8.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

エンコーダ用スケールであって、
位相格子が形成された基板と、
前記位相格子を保護する保護部と、
前記基板と前記保護部との間に配置され、前記基板と前記保護部とを貼り合せる接着部
と、
を備えることを特徴とするエンコーダ用スケール。

【請求項2】

前記接着部は、前記位相格子を囲むように配置されることを特徴とする請求項1に記載のエンコーダ用スケール。

【請求項3】

前記保護部によって空隙が設けられることを特徴とする請求項1又は2に記載のエンコーダ用スケール。

【請求項4】

前記接着部は、前記基板と前記保護部とを貼り合せる機能と前記空隙を形成するスペーサとしての機能とを兼用していることを特徴とする請求項3に記載のエンコーダ用スケール。

【請求項5】

前記空隙に不活性ガスが充填されていることを特徴とする請求項3又は4に記載のエンコーダ用スケール。

【請求項6】

前記保護部は、前記位相格子を非密閉状態に保護することを特徴とする請求項1~4のいずれか一項に記載のエンコーダ用スケール。

【請求項7】

前記保護部は、前記基板上の前記位相格子が形成された面に配置されることを特徴とする請求項1~6のいずれか一項に記載のエンコーダ用スケール。

【請求項8】

前記接着部は両面接着部材であることを特徴とする請求項1~7のいずれか一項に記載のエンコーダ用スケール。

【請求項 9】

前記保護部には、波長選択性を有する波長選択膜が設けられることを特徴とする請求項1～8のいずれか一項に記載のエンコーダ用スケール。

【請求項 10】

前記保護部には、親水性膜が設けられることを特徴とする請求項1～9のいずれか一項に記載のエンコーダ用スケール。

【請求項 11】

前記接着部は、前記位相格子の周囲のうち少なくとも一部に配置されることを特徴とする請求項1～10のいずれか一項に記載のエンコーダ用スケール。

【請求項 12】

前記接着部は、前記保護部の周縁部の少なくとも一部に配置されることを特徴とする請求項1～11のいずれか一項に記載のエンコーダ用スケール。

【請求項 13】

前記接着部が前記保護部と前記基板との距離を一定に保持することを特徴とする請求項1～12のいずれか一項に記載のエンコーダ用スケール。

【請求項 14】

請求項1～13のいずれか一項に記載のエンコーダ用スケールと、該エンコーダ用スケールを介した光を検出する検出器と、を備えることを特徴とするエンコーダ装置。